



ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2010年1月号 徳竹 徳重 書



迎春

明けましておめでとうございます。

皆様もご健勝で新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

4月に会長に就任して以来、今日まで皆様方の暖かいご支援をいただき、有難うございました。おかげさまで社協も大過なく新年を迎えることができました。

昨年は政治も経済も変動の年でありました。諸事混沌としたなかではありますが、希望をもって助け合いながら良い年にしたいものです。

昨年の暮れ、ある美術館でこんなことばを目にしました。

『ほんものとは』『うそものでないこと・にせものでないこと・かりものでないこと・ものまねでないこと』あたりまえのことかもしれないが、あらためて噛みしめました。

今年も皆様と一緒に一つ一つほんものを積み上げてまいりたいと思いますので、よろしく願います。



山ノ内町社会福祉協議会 会長 畔上 善治



今月の表題を書きくださったのは、第28回山ノ内町社会福祉大会において、福祉活動功労者表彰を受賞された徳竹徳重さんです。大会当日は緊張されていたようで「壇上では、どんな事を話したのか憶えてないんだよな。」と笑ってお話をしてくださいました。

徳竹さんは、地域福祉推進事業のいきいきサロン「たっしやでくらそう会」の代表者としてご尽力をいただいています。この会は町内では珍しく、午前には町の介護予防教室、昼食をボランティア「こぶしの会」の方に調理してもらい、全員で食べています。食べた後に午睡をし、午後の部として「たっしやでくらそう会」を開催しています。徳竹さんには、午睡後の目覚めの体操を指導していただき、参加者と一緒に楽しい時間を過ごしたり、会を盛り上げていただいています。

徳竹さんは、いきいきサロンのほかに「山ノ内民話の会」にも加入され、山ノ内町の魅力を、紙芝居に表現され多くの方に伝えるため町内を飛び回られています。ほかに、書道や俳句など実に多趣味の徳竹さんです。

山ノ内町の地域を支える一員として、これからもご活躍を期待しております。

この人に注目

とくおけ のりしげ
徳竹 徳重 さん



